＼野菜づくりでふくいの食を豊かに／

Agri Note菜園

アグリ ノート菜園情報

JA福井県

今回紹介するキャベツとブロッコリーは、ともにヨーロッパ生まれでアブラナ科に属します。また、秋冬に栽培する代表的な野菜です。キャベツといえば、野菜の代表といっても過言ではないほど有名で消費量もトップクラス。ブロッコリーは、国民の消費量が多く、安定した供給が必要な品目として国が認定する「指定野菜」に格上げされるなど、躍進しています。

1．夏野菜の片づけ

トマトやキュウリなど秋まで収穫できない野菜は収量が減少してきたら早めに片付けて次の野菜の準備を行いましょう。ナスやピーマンなど秋にも収穫できる野菜は生育状況をみながら追肥などを行い育てましょう。

- 数日前から水やりをやめて茎葉を十分に枯らす
- 残渣はゴミ出しのルールに従って処分
- 病害虫が残っている場合、次の作物に影響するので土にすきこむのは避ける

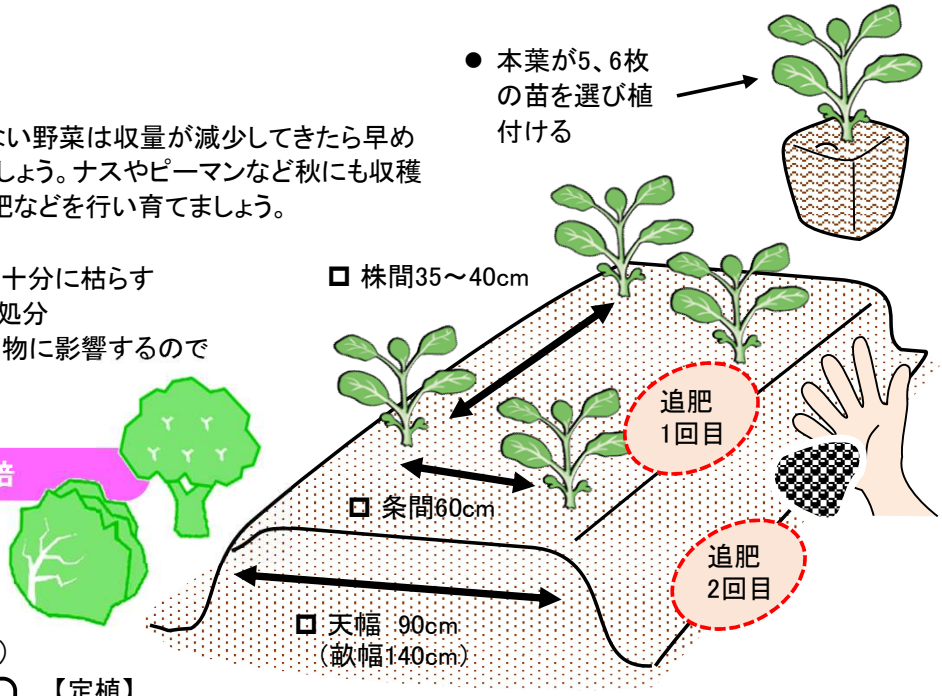
2．キャベツ・ブロッコリー栽培

【畑の準備】

- 堆肥や石灰を撒き耕す
- 植え付け前に元肥を散布

（g/㎡）

肥料名	元肥	追肥	
		1回目	2回目
堆肥	2,000		
マグエース	120		
あさひ	100		
そさい5号		40	40
成分	N：28.8　P：18.0　K：23.2		



【定植】

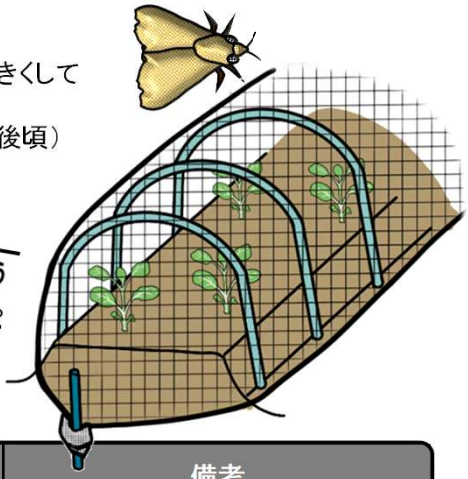
- 湿害に弱いので排水の悪い所では深植えにならないように注意する
- 夏場に植える場合は地温の高い日中を避け、気温が下がってから植付ける

【追肥】

- 1回目：定植14日後頃　外葉を大きくして結球まで生育を進める
- 2回目：結球始め（定植25～30日後頃）

【病害虫】

キャベツ・ブロッコリーは病害の被害が多いので、薬剤による防除が大切です。また、害虫による被害も大きいので、防虫ネットなどを利用することが有効です。



- 殺虫剤の使用を減らす場合はこまめなチェックが必要。
- 特に芯を食べられると生育が止まるので注意。

区	品目	使用濃度 10a当たり使用量	使用時期 使用回数	備考
殺虫	プレバソンフロアブル5	2000倍 100～300ℓ/10a	収穫前日まで 3回以内	コナガ・アオムシ・ハスモンヨトウ・ハイマダラノメイガ
	スピノエース顆粒水和剤	5000倍 100～300ℓ/10a	収穫3日前まで 3回以内	アオムシ・コナガ
	アファームエクセラ顆粒水和剤	1000～1500倍 100～300ℓ/10a	収穫7日前まで 3回以内	アオムシ・コナガ・ハスモンヨトウ・ハイマダラノメイガ
殺菌	Zボルドー	500倍 100～300ℓ/10a	－ －	花蕾腐敗病・軟腐病

今回のアグリノート菜園は、嶺南営農経済センター（園芸振興課）山﨑が担当しました。